

卓球部

好きな卓球に、遊びではなく部活として本気でとことん取り組みたい。そんな熱い思いの部員たちが集まるのが卓球部です。2020年は思うような活動ができませんでしたが、上部リーグ昇格の夢は少しも失っていません。

コロナ禍による活動休止の中でも部の結束を保ち続けるよう努力

例年充実した活動を行ってきた卓球部ですが、2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により学内での練習は2月後半よりずっと休止。最大の目標としている春と秋の関東学生リーグ選手権はもちろん、その他の大会も軒並み中止となり、部員一同の戸惑いはかなりのものでした。そんな大変な時期に部長を務めた吉田大輔君も「予定が全て白紙になり、卓球部のグループLINEで部員と連絡を取ることぐらいしかできない状況でした。そんな中で次の部長の代にバトンタッチしなければならないのが悔しいです」と語ります。卓球部の代替わりは例年10月ですが、今年は活動休止のまま、次の卓球部を牽引する役職を吉田君たち3年生で決めたそうです。

第3クォーターに入って大学側の課外活動に対する活動制限は段階的に緩和され、申請書を提出した団体に対しては、感染症対策意識を厳しく判断した上で、学内での練習を許可するようになっていました。卓球部も申請書を提出していたのですが、秋になって全国的に感染者数が急増。11月後半から再



工学部 都市工学科
2年・新部長
梶原 颯太君

工学部
医用工学科 2年
五十嵐 智晴さん

人間科学部 児童学科
3年・前部長
吉田 大輔君

工学部 建築学科
2年・副部長
岩崎 光君

び学内の全課外活動に関して厳しい活動制限がなされてしまいました。もう少しで活動再開できると考えていた部員たちの落胆は大きかったようですが、それでも気持ちは前に向いています。次期部長を託された部唯一の“熱い男”、梶原颯太君は次のように語ります。「今は学業優先の生活ですが、空いた時間を使って個々にランニングや筋トレを行っています。また、どこそこの地域センターの卓球台が借りられるなどの情報を部員で共有し、感染対策を万全にした上でごく少人数で練習を行うことも。大変な状況ですが、なんとか部員同士の繋がりを保ち、卓球に対するモチベーションを失わないようにしていきたいです」。それを受けて吉田君もエールを送ります。「僕は一旦就職活動に専念しますが、4年生まで大会に出られるため、春に内定が取れたら卓球部に復帰し、部を盛り上げる手伝いをしたい。それまで次期部長のもとでぜひ結束してもらいたいですね」



普段の練習風景。基本的に火、水、土が活動日ですが、それ以外の曜日でも卓球場が空いていれば自主練できます



部員一同が楽しんでいる夏合宿の様相。2019年の夏合宿は夜の休憩時間中、児童学科の部員が絵本の読み聞かせの腕前を披露しました(写真上)